

29年度用 実教出版の家庭科教材

【資料＋成分表】～資料集と成分表を1冊で学べます！～



生活学 Navi 資料＋成分表 2017

- ◆「生活」「自立・自活」をキーワードにした「資料＋成分表」の決定版！
 - ◆「日本食品標準成分表2015年版（七訂）[追補2016年]」準拠
 - ◆「アミノ酸成分表2015」に対応しています。
 - ◆日本人の食事摂取基準（2015年版）掲載
- AB判／360ページ 定価886円（本体820円＋税）



ニュービジュアル家庭科 資料＋成分表 2017

- B5判／344ページ 定価842円（本体780円＋税）
- ◆「生活力を高める」をキーワードとした「資料＋成分表」です。
 - ◆「日本食品標準成分表2015年版（七訂）[追補2016年]」準拠
 - ◆「アミノ酸成分表2015」に対応しています。
 - ◆日本人の食事摂取基準（2015年版）掲載



ニューライブラリー家庭科 資料＋成分表 2017

- B5判／344ページ 定価842円（本体780円＋税）
- ◆「生活力を高める」をキーワードとした「資料＋成分表」です。
 - ◆「日本食品標準成分表2015年版（七訂）[追補2016年]」準拠
 - ◆「アミノ酸成分表2015」に対応しています。
 - ◆日本人の食事摂取基準（2015年版）掲載

※教師用ワークシート集（別冊）で先生をサポート
 ※教師用ワークシート集の解答をWebで提供

【成分表】

オールガイド食品成分表 2017

- ◆「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」の全食品（2,191品目）を掲載しました。
 - ◆「アミノ酸成分表2015」にも対応しています。
- B5判／408ページ 定価864円（本体800円＋税）

カラーグラフ食品成分表 2017

- ◆「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」、「アミノ酸成分表2015」にも対応しています。
 - ◆828品目の食品を掲載しました。
- AB判／240ページ 定価734円（本体680円＋税）

【その他資料集・サブテキスト】

資料アクティブ家庭科 三訂版 2017

B5判／208ページ 定価778円（本体720円＋税）

基本マスター フード&クッキング

レシピ＋成分表 四訂版
 B5判／104ページ 定価540円（本体500円＋税）

イラスト調理BOOK

B5判／160ページ 定価792円（本体733円＋税）

授業力アップ アクティブ・ラーニング

グループ学習・ICT活用・PBL

B5判176頁 ISBN:978-4-407-33931-4
定価2,160円（本体2,000円＋税）

編著：市坪 誠
執筆：油谷英明，小林淳哉，下郡啓夫，本江哲行



ご授業の参考に！！ 現役教員や教員を目指す学生におすすめです。

- ◆本書は、アクティブ・ラーニングを想定した授業において、どのように学生たちが能力を伸ばせるようになるか、教員の授業力アップを実現する「教え方の指導書」です。
- ◆学生がどのような学習状態となるのか（学習到達目標）を踏まえ、これに到達するための授業構造のありかた（モジュール）と教え方のスキルを解説しています。
- ◆グループ学習やICT活用、PBLといった授業において、具体的なモジュールとスキルのあり方を章立てて明示しています。
- ◆教員が自らをフィードバック・セルフチェックできるだけでなく、組織的なアセスメントが行えるよう、チェックシートの活用を提示し、教え方のさらなる向上(PDCAサイクル)が可能となります。

<p>1章 教育力の基礎</p> <p>1節 実践できる授業のために</p> <p>2節 授業の型（教え方のモジュール）</p> <p>3節 教員スキル：教え方スキル</p> <p>4節 まとめ</p> <p>2章 アクティブ・ラーニングの基礎</p> <p>1節 到達目標の達成</p> <p>2節 学生が主体となる心得と仕掛け</p> <p>3節 PBL教授法の心得</p> <p>3章 グループワーク型授業</p> <p>1節 グループワーク型授業の授業設計</p> <p>2節 グループワーク型授業の実施例1 （学生の前提知識を重視した授業タイプ）</p> <p>3節 グループワーク型学習の実施例2 （学生の知識・解法発見を重視した授業タイプ）</p> <p>4節 教員としての振り返り</p> <p>4章 ICT活用授業と実験・実習授業</p> <p>1節 座学へのICT活用</p> <p>2節 ICT活用授業（適用レベル）の実施例</p> <p>3節 実験・実習・調査の活用</p> <p>4節 実験・実習授業の実施例</p>	<p>5章 PBL型授業</p> <p>1節 問題発見・解決型学習PBLの特徴</p> <p>2節 PBL授業とそのプロセス</p> <p>3節 PBL授業での指導のポイント</p> <p>4節 PBL授業の設計</p> <p>5節 PBL授業に必要な教員スキル</p> <p>6章 チームによるプロジェクト型授業、卒業研究・ゼミ</p> <p>1節 チーム活動の計画</p> <p>2節 チーム活動の実施</p> <p>3節 評価</p> <p>7章 発表・プレゼンテーションスキルの指導</p> <p>1節 発表構成</p> <p>2節 発表タイトルの工夫と発表の方向性</p> <p>3節 発表のルーブリック作成と活用</p> <p>4節 プレゼンテーションチェックリスト</p> <p>5節 プレゼンテーションの位置付けとその振り返り</p> <p>8章 FDマネジメント</p> <p>1節 FDマネジメントのあり方</p> <p>2節 自己評価（セルフアセスメント）</p> <p>3節 組織評価</p> <p>4節 まとめ</p> <p>参考文献 付録</p>
---	---